

2 教育委員の自己点検及び評価

【教育委員の主な活動】

(1) 教育委員会会議の開催状況

年度	開催日	議題等件数	出席委員数 (教育長を除く)	会議に付した主な案件
26	4月18日	3	5	平成26年度大阪府教育委員会の運営方針について、平成26年度入学者選抜における合否判定過誤及び全校調査結果について 等
	5月16日	5	5	平成27年度使用府立学校教科用図書採択要領及び平成27年度使用高等学校教科用図書選定の手引きについて、平成29年度大阪府立高等学校入学者選抜における英語の学力検査問題について、平成27年度公立小中学校任期付校長及び大阪府立学校校長の公募選考について 等
	6月20日	7	4	大阪府立高等学校における知的障がいのある生徒の教育環境整備方針の改定について、平成27年度大阪府公立学校入学者選抜(中国等帰国生徒及び外国人生徒、知的障がい生徒自立支援コース、共生推進教室)の方針等について、平成27年度使用府立学校教科用図書について、南河内地域における中高一貫校設置に向けた検討について 等
	7月23日	4	5	平成27年度開校予定の北河内地域における支援学校及び高等支援学校の校名(仮称)並びに中河内・南河内地域における支援学校の校名(仮称)について、大阪府立高等学校・大阪市立高等学校再編整備計画(平成26年度～平成30年度)に基づく平成26年度実施対象校選定の考え方について、エンパワメントスクールの概要について 等
	8月22日	4	5	大阪府立高等学校入学者選抜制度改善方針(案)について、平成27年度使用府立高校教科用図書の採択について 等
	9月3日	2	5	平成25年度教育行政に係る点検及び評価結果の報告について、大阪府立高等学校・大阪市立高等学校再編整備計画に基づく平成26年度実施対象校(案)について
	9月19日	3	5	大阪の学力向上に向けた重点対策について、大阪府の支援教育における今後の方向性について 等
	10月29日	0	4	(教育委員間の意見交換)
	11月7日	1	4	調査の実施について
	11月21日	5	4	平成27年度大阪府公立高等学校の募集人員について、大阪府公立高等学校入学者選抜制度改善方針及び平成28年度大阪府公立高等学校入学者選抜の主な日程について、大阪府立高等学校・大阪市立高等学校再編整備計画に基づく平成26年度実施対象校について 等
	12月22日	7	4	平成27年度「府立学校に対する指示事項」及び「市町村教育委員会に対する指導・助言事項」について、府立箕面高等学校の学科改編について、南河内地域における中高一貫校の設置について 等
	1月21日	4	4	平成27年度「府立学校に対する指示事項」及び「市町村教育委員会に対する指導・助言事項」について、平成28年度大阪府公立学校入学者選抜方針等について 等
	2月20日	7	4	文理学科の拡充について、学校における適正な指導及び教材の適正な取扱いについて、平成27年度公立小・中学校、高等学校及び特別支援学校教職員定数配分方針の承認について 等
	3月11日	1	3	教育委員会委員の辞職の同意について
	3月19日	1	3	教育長の職務代理者について
3月27日	6	4	平成28年度大阪府公立学校教員採用選考テストの実施等について、教育委員会委員の辞職の同意について 等	
合計	16回	60	68	

(2) 教育委員意見交換の開催状況

年度	開催日	出席委員数 (教育長を除く)	意見交換を行った主な案件
26	4月18日	5	エンパワメントスクールの入学者選抜および広報について、中高一貫校について、大阪府立学校いじめ防止対策審議会について、大阪市立学校の府への移管について 等
	5月16日	5	エンパワメントスクールについて、平成28年度選抜制度改善について、教職員の綱紀保持について 等
	6月4日	5	選抜制度について
	6月20日	4	府立支援学校における平成27年4月柔道整復科設置の申請について、平成28年度以降の高校入学者選抜制度について、SETの合格者等について 等
	7月7日	5	選抜制度について
	7月15日	5	選抜制度について
	7月23日	5	平成28年度選抜制度改善について、GLHS評価審議会の報告について、平成25年度教育行政の点検・評価について、優秀教職員表彰の見直しについて、9月補正予算について 等
	8月22日	5	全国学力・学習状況調査結果の概要について、GLHS事業検証報告及び平成27年度以降の指定について、平成28年度選抜制度改善の今後のスケジュールについて、大阪市立学校一元化について 等
	9月3日	5	全国学力・学習状況調査結果について
	9月19日	5	「認定こども園の認定の要件に関する条例の一部を改正する条例」について 等
	11月21日	4	12月議会追加提出議案に関する知事からの意見聴取について、府立学校に対する指示事項、市町村教育委員会に対する指導・助言事項について、平成27年度当初予算要求の概要について、府立学校施設老朽化対策方針について
	12月22日	4	教員採用選考の工夫改善について、平成27年度小学校・高等学校任期付校長の採用予定者の決定について 等
	1月21日	4	教職員定数の配分方針について、府立学校条例改正について、文理学科の拡大について、平成27年度予算要求の状況について 等
	3月19日	3	中学3年の調査書評定の考え方について、チャレンジテストの結果について
3月27日	4	中学3年の調査書の評定について	
合計	15回	68	

(3) その他

活動内容	回数	延べ出席委員数（教育長を除く）
学校等視察（学校視察、教育センター視察、学校での講演、成果発表会視察、中学生生徒会サミット 等）	20	20
議会への出席（府議会本会議、教育常任委員会 等）	16	36
選考会議等での審査員（学校経営推進費選考、校長等選考）	5	6
広報活動（教員採用説明会、校長公募説明会、取材）	9	15
表彰式（優秀教職員表彰 等）	2	3
各種会議、式典への参加（全国都道府県教育委員会連合会、近畿2府4県教育委員協議会 等）	7	8

平成 26 年度 教育委員の取組みについての自己点検・評価シート

【小河教育委員長職務代理者】

教育委員会会議における取組み（主な発言の内容） 【会議出席 15 回】

【平成 26 年度大阪府教育委員会の運営方針について】（基本方針 4 関係）

*平成 4 月 18 日開催の教育委員会会議

・いじめの解消に関して、仲間づくりのような集団を変えていく方法を研究することが大切であることを提起。

【エンパワメントスクールの概要について】（基本方針 2 関係）

*平成 26 年 7 月 23 日開催の教育委員会会議

・エンパワメントの取組みについて、農作業やものづくりなどの体験活動を推進することを提起。

【平成 25 年度行政に係る点検及び評価結果の報告について】（基本方針 1 関係）

*平成 26 年 9 月 3 日開催の教育委員会会議

・学力向上について、現場の状況を踏まえながら子ども達がつまずいている状況の実態把握が大切であることを提起。

【大阪府立高等学校・大阪市立高等学校再編整備計画に基づく平成 26 年度実施対象校（案）について】（基本方針 2 関係）

*平成 26 年 9 月 3 日開催の教育委員会会議

・エンパワメントスクールに関して、挑戦的なビジョンで作上げた学校であり、未来志向で次の社会を支えていく人材をはぐくんでいく学校であることを発信するよう提起。

【大阪の学力向上に向けた重点対策について】（基本方針 1 関係）

*平成 26 年 9 月 19 日開催の教育委員会会議

・子ども達の実態を踏まえた学力向上計画を構築することと、取組みの推進には校長のマネジメントが重要であることを提起。

【平成 27 年度「府立学校に対する指示事項」及び「市町村教育委員会に対する指示・助言事項」について】（基本方針 1～9 関係）

*平成 27 年 1 月 21 日開催の教育委員会会議

・政策を円滑にすすめるために、学校現場と行政の交流が重要であることを提起。

【その他について】（基本方針 2 関係）

*平成 27 年 3 月 27 日開催の教育委員会会議

・中学 2 年で行ったチャレンジテストの活用について、府民から見て誤解の無いように説明することについて提起。

その他の取組み

【授業改善について】（基本方針1 関係）

- *平成 26 年 9 月 24 日開催の学力向上に向けた研修会で講演
 - ・府内の公立中学校長に対し、学力向上方策について、つまずきの実態把握と基礎基本の学習の重要性を講演。
- *平成 27 年 2 月 25 日開催の泉大津市立東陽中学校区連携会議に出席
 - ・「学力向上のための連携ポイント」について講演。

【その他】

- *大阪府議会への出席 11 回（本会議 2 回、教育常任委員会 7 回、教育常任委員協議会 2 回）
- *各種会議への出席 5 回（全国都道府県教育委員会連合会総会、近畿 2 府 4 県教育委員協議会 等）

自己点検及び評価

平成 26 年度の課題は様々なものがあるが、特に重点的な内容として授業改善に触れる。

平成 26 年 4 月の全国学力・学習状況調査の大阪府の結果は、非常に厳しいものであった。前年度の平均正答率と比較して、小学校は大きく下がった。中学校は若干上がったものもあったが、ほぼ同じか一部下がるという状況であった。

この状況を改善すべく、陰山委員長が府内の全小学校の校長に、私が府内の全中学校の校長に、それぞれ過去の経験を踏まえ、具体的に学力向上策について提起した。特に、中学校ではモジュール学習を学校全体で組織的に取り組むことについて、教材や統計的データなどの具体的な資料を提示し、説明を行った。また、2 月には泉大津市立東陽中学校区連携会議において、校区の小中学校の全教員の研修で講演を行った。

今年 4 月に行われた全国学力・学習状況調査では、中学校の平均正答率は上がり、中学校では、ほぼ全国平均に並ぶほど上昇するという目覚ましい結果になった。このことは、今後の検証を待たなければ断言はできないが、前述の校長への研修などの効果も要因の一つとして考えられる。この結果は偶然でなく、学力向上に向けた地道な取組みの成果である。今後、教員が学力向上に向け、いかに組織的に取り組んだか、また、教員の作成した教材や授業の工夫などを整理し、これからの取組みに活かさなければならない。それによって、大阪府の学力をさらに定着させ伸ばしていくことができると考える。

もう一点、本年度、重大な事態を本委員会は経験した。教育長によるパワーハラスメントの問題に対し、事実の確認を優先するため、大阪府弁護士会に第 3 者機関として委託し、その事実判断を依頼した。結論は厳しいものとなり、残念ながらこの問題は、多くの府民の本委員会に対する信頼を損ねるという事態をもたらした。今後、この経験を教訓にして、子どもたちの教育という府民の重大な要請に応え、本委員会の信頼を早急に回復するよう努力することが一人ひとりに迫られていることを自覚したい。

平成 26 年度 教育委員の取組みについての自己点検・評価シート

【立川教育委員】

教育委員会会議における取組み（主な発言の内容） 【会議出席 15 回】

【平成 26 年度大阪府教育委員会の運営方針について】（基本方針 2、4、6 関係）

*平成 26 年 4 月 18 日開催の教育委員会会議

- ・キャリア教育推進として、進路保障の観点から進路未定率を足すべきと要望。優秀教職員表彰のあり方について検討することを提起。

【府立佐野工科高等学校の系・専科の改編について】（基本方針 2、4 関係）

*平成 26 年 6 月 20 日開催の教育委員会会議

- ・工科高校と地域企業とが協働した取組みをいっそう推進することを提起。

【エンパワメントスクールの概要について】（基本方針 2、4 関係）

*平成 26 年 7 月 23 日開催の教育委員会会議

- ・キャリア教育の視点からエンパワメントスクールの取組みへの期待として、田奈高校（有償インターンシップ+アルバイトのバイターン）や綾羽高校（実務代替の単位認定）の取組みをあげ、子どもの経済格差や貧困の問題において経験や体験の格差を補える実践的なキャリア教育推進の検討を提起。

【大阪府立高等学校入学者選抜制度改善方針（案）について】（基本方針 2 関係）

*平成 26 年 8 月 22 日開催の教育委員会会議

- ・高校中退率が高い現状を踏まえ、不本意入学を減らす進路指導について、中学校と高校が連携しながら選抜制度の仕組みづくりを進めることを提起。

【平成 26 年度 1 学期（平成 26 年度 4 月 19 日以降）における教職員の懲戒処分の状況について】（基本方針 4 関係）

*平成 26 年 8 月 22 日開催の教育委員会会議

- ・体罰は暴力とし、指導力向上のためアンガーマネジメント(怒りの感情コントロール)研修を企画提案。生徒や教員のコミュニケーション力向上が重要であり、府立茨田高等学校のピア・メディエーションの取組みが参考になることを提起。

【開かれた学校づくりと地域のコミュニティづくりについて】（基本方針 2、9 関係）

*平成 26 年 9 月 3 日開催の臨時教育委員会会議

- ・幼児期からの読書推進や開かれた学校づくりによって、地域の方々に学校の実態把握を促し、ボランティアや子どもを見守る人の増加が期待できることを提起。学校情報の公表状況 100%達成を要望。

【教育委員会の定例会議等の審議のあり方及び運営等について】

*平成 26 年 10 月 29 日開催の教育委員会会議

- ・大阪府認定こども園の認定要件に関する条例改正について、教育委員会の意思決定プロセスを問題提起及び教育長の問題発言について指摘。

【平成 27 年度「府立学校に対する指示事項」及び「市町村教育委員会に対する指示・助言事項」について】（基本方針 2、4 関係）

*平成 26 年 12 月 22 日開催の教育委員会会議

- ・中退防止フォーラムの報告を受け、高校生活支援カード[®]を実状に応じてアレンジしている取組みについて、その共有化を図るなど高校生活支援カード[®]の有効性を提起。

【南河内地域における中高一貫校の設置について】（基本方針 2 関係）

*平成 26 年 12 月 22 日開催の教育委員会会議

- ・府立富田林高校に設置する中高一貫校については、コミュニティ・スクールとして学校づくりを進めていくことについて提起。

その他の取組み

【スクールエンパワーメント推進事業、生徒の居場所づくり等について】（基本方針1、2関係）

- *平成26年4月23日・10月24日 府立勝山高等学校授業公開研究会等を視察
 - ・「協同的な学び（学びの共同体）」の導入による授業改善の取組みの授業や研究会協議を視察。
- *平成26年10月23日開催のスクールエンパワーメントフォーラムを視察
 - ・スクールエンパワーメント推進事業に係る実践発表やパネルディスカッションを視察。
- *平成26年11月28日 府立桃谷高校視察
 - ・「かめカフェ」（高校内における生徒の居場所づくりの取組）等を視察し、校長・准校長と意見交換を実施。

【その他】

- *大阪府議会への出席 5回（教育常任委員会4回、教育常任委員協議会1回）
- *学校等視察 16回（成城高等学校、教育センターいじめ防止・対応研修、教育センター運動部活研修、大阪府高等学校定時制通信制秋季発表大会、大阪府立学校人権教育研究会 等）

自己点検及び評価

私のめざす教育委員像「身近で、動く教育委員」を実践し、委員活動を行ってきた。都道府県で初の公募教育委員“素人教育委員（レイマンコントロール）”の役割を担う一府民として、また幼児期の子を持つ保護者の立場から発言及び判断をしてきた。また、府立高校を支援してきたキャリア・コンサルタントの視点からも、多様な課題を持つ生徒への支援の必要性や不登校・長期欠席者、中途退学者の防止等について、キャリア教育の重要性や授業改善を委員活動の中で訴えてきた。

その一例として、①就任当初から提案してきた「エンパワメントスクール」が27年度から3校スタートした。改編前後から教育内容の充実（授業改善等）や進路保障をはじめ、各校の特色や生徒の実態に即した取組みとなるよう注視してきた。今後、新たに設置される改編校の活性化に向けて提起していく。②専門性の高い外部人材活用の必要性について提起してきた。キャリア教育関連事業が充実され、生徒の多様な課題に対応すべく、スクール・ソーシャル・ワーカーや就職支援コーディネーター等の外部人材の活用が促進された。③府の他部局や外部の支援機関等との連携をさらに進めることを提起してきた。府青少年課による府立高校への支援事業が拡充され「高校内における居場所のプラットフォーム化事業」等で新たな支援のしくみが整備されつつあるが、さらに連携の強化と拡充が必要と考える。

そして、大阪の子どもたちの貧困問題は深刻であり、子どもを取り巻く多様な課題解決に向けて、府市や部局を越えた横断的かつ永続的な支援体制の構築の必要性を訴えてきた。経済的な格差による体験や経験の差を補い、就学機会の確保と進路保障をするため、大阪のすべての子どもたちのチャレンジ、自立、自律に向けたキャリア支援として、「大阪子ども進路保障センター（仮称）」実現に向け、さらに具体的な提案をしていきたい。

最後に、学校の事件や事故の再発防止や、子どもの自死やいじめ予防等について、教育委員として常に何ができるか考え、過去の悲しい事案を風化させないよう、いっしょに誰に何が起こってもおかしくないとの認識を持ち、安全な学校（＝職場）づくりや地域の教育コミュニティづくりの再構築等にも貢献していきたい。また、ごく一部の教職員だが不祥事が絶えない。特に体罰問題は、暴力であり犯罪、絶対に許さないとの認識で、指導力（コミュニケーション力）向上の研修の体系化や、一層の綱紀粛正を図る必要がある。引き続き、厳罰化や実効ある再発防止策についても、提起していきたい。

今後も教育委員としての使命と自覚を持ち、“社会総がかりの教育力（地域の底力）”を復活させ、大阪の教育への信頼回復に努め、大阪の未来のために、子ども第一主義、現場第一で、委員活動をさらに展開していく決意である。

平成 26 年度 教育委員の取組みについての自己点検・評価シート

【井上教育委員】

教育委員会会議における取組み（主な発言の内容） 【会議出席 15 回】

【平成 26 年度大阪府教育委員会の運営方針について】（基本方針 1～9 関係）

*平成 26 年 4 月 18 日開催の教育委員会会議

- ・英語教育の推進、エンパワメントスクールの生徒の学び直し、教員の力とやる気の向上の 3 点については、他府県と比べても大きな特徴であるので、重点的に取組む課題を工夫して分かりやすく記載することを提起。

【平成 27 年度大阪府公立高等学校入学者選抜方針等について】（基本方針 2 関係）

*平成 26 年 6 月 20 日開催の教育委員会会議

- ・エンパワメントスクールは、面接重視の入学者選抜を実施する画期的な制度であり、学校が求める生徒像が大切になることを提起。

【府立佐野工科高等学校の系・専科の改編について】（基本方針 2 関係）

*平成 26 年 6 月 20 日開催の教育委員会会議

- ・創造性と ICT 活用によるものづくり技術とを連動させた教育プログラムについて、創造性教育が重要であることを提起。

【エンパワメントスクールの概要について】（基本方針 2、4 関係）

*平成 26 年 7 月 23 日開催の教育委員会会議

- ・産業界や経済界をはじめ、多方面からの意見を参考に取組みを推進することを提起。

【大阪府立高等学校入学者選抜制度改善方針（案）について】（基本方針 2 関係）

*平成 26 年 8 月 22 日開催の教育委員会会議

- ・「活動/行動の記録」欄を設けたことにより、中学生が学校生活の中で部活動や課外活動等にしっかりと取り組んでほしいという意図について、十分に周知することを提起。

【大阪府の支援教育における今後の方向性について】（基本方針 3 関係）

*平成 26 年 9 月 19 日開催の教育委員会会議

- ・多様な選択肢を準備する大阪版のインクルージョンが、今後の社会に大変重要となってくることを提起。

【教職員の評価・育成システム」の改定について】（基本方針 6 関係）

*平成 26 年 12 月 22 日開催の教育委員会会議

- ・授業力の定義について、授業だけでなく教材開発もセットでできることであると意思統一することを提起。

その他の取組み

【広報活動について】（基本方針2、6、7関係）

*平成26年4月8日開催の大阪の英語教育に関する説明会

- ・座談会で、自己の体験を交え、留学の意義等について講演。

*平成26年5月28日開催の公立学校長公募説明会

- ・校長のやりがい等について、公立学校長5名とパネルディスカッションを実施。

*平成26年12月「こころの再生」府民運動に関する調整

- ・平成27年3月発行の「こころの再生」府民運動の推進に、代表取締役社長を務める松竹芸能（株）所属の森脇健児氏に協力（冊子の巻頭メッセージの寄稿等）を依頼。

*平成26年12月「笑育（わらいく）」出前授業の府内小中学校での実施

- ・笑いを通じてコミュニケーション力等の習得を目的とした出前授業（「笑育」）を、代表取締役社長を務める松竹芸能（株）が、府内の小中学校（計10校）において、無償で実施した。

【その他】

*大阪府議会への出席 8回（教育常任委員会7回、教育常任委員協議会1回）

*選考会議等での審査 3回（府立学校校長選考、学校経営推進費選考委員会）

自己点検及び評価

委員唯一の民間企業経営者の視点から、大阪府が抱える教育の課題に対して、公開及び非公開の会議の場で、積極的に提言を行った。特に、教育委員会会議及び教育委員意見交換における意思決定のルール作りや議論の進め方等に関する委員間の意思形成過程の明確化、及び教育委員会の組織ガバナンスの正常化に向けて（下半期に発生した教育委員会内における調査を要する事案に関する調査の公平性の担保等の仕組作りを含む）、多くの時間を割き、成果を残せたと考える。

反省点としては、学校現場をより深く理解するための視察等に、自己の業務の都合上、多くの時間を割くことができなかったため、来年度からは、改善を図りたいと考える。